

## 平成 22 年度 事業計画書

本財団の基礎科学振興に関する公益目的事業は、幸いにして学界はじめ各方面のご理解ご支援を得て好評を博しておりますので、平成 22 年度も本財団設立趣旨に基づく従来の方針を継続し、各界のご期待に添うよう尽力する所存です。事業としては、概ね従来の項目を引き続き実行する計画です。

ただし、本年は仁科芳雄博士生誕120周年という記念すべき年にあたりますので、そのために特別の記念事業を実施することと致します。その一つとして、仁科博士の加速器科学への貢献と波及効果をひろく国際的に知ってもらうための国際シンポジウムを京都において開催いたします。また、仁科記念講演会も仁科博士の歴史的業績に重点をおいたものを企画しております。

二つ目は、仁科芳雄博士の遺した重要な資料の発掘・研究など仁科記念文庫において行われている活動の成果を出版する計画であります。

なお、仁科記念奨励基金は、これまで本財団創立50周年記念事業を中心に有効に使用して参りましたが、残余额が減少していること等を勘案し、従来行ってきた研究者の派遣、招聘事業については、平成 22 年度は見送りいたします。

平成 22 年度中には新公益法人への移行をはかりたく、そのための定款、将来の事業・予算計画などの検討を新公益財団法人移行検討委員会の場を中心に行うことといたします。

### I. 助成事業

#### 1. 仁科記念賞の授与

原子物理学とその応用分野で卓越した成果をおさめた研究者に対する賞で、3 件以内を予定。特別研究助成金 50 万円(1 件あたり)を賞牌と併せて贈る。推薦は公募により、選考は選考委員会において行う。

#### 2. 仁科記念講演会

原子物理学とその応用分野における最近の研究成果についての講演会・シンポジウムを、内外著名学者を招聘して開催する。これを主催する研究者に研究助成金を贈る。

#### 3. 仁科記念奨励金

仁科博士に関する調査・研究、講演会・シンポジウムの開催を主催する研究者に研究助成金を贈る。

これら研究助成事業はホームページ上で公募されている。事業の立案と選定は、役員を除く運営委員および選考委員若干名からなる運営諮問委員会で行う。

### II. 助成以外事業

#### 4. 仁科記念文庫

仁科博士の蔵書および仁科記念室と朝永記念室にある歴史的資料・図書の調査、整理、保管、広報に関する活動。

#### 5. 研究関連出版物刊行

仁科記念講演会の記録(小冊子NKZシリーズ)等、研究関連の出版活動。